

発表場所：(社)日本測量協会 資料投げ込み
発表日時:平成 21 年 6 月 12 日(金)
解禁日時:平成 21 年 6 月 15 日(月)

「地理空間情報フォーラム 2009／地理空間情報システム展 2009」を 6 月 17 日～19 日の 3 日間、パシフィコ横浜にて開催

地理空間情報フォーラム組織委員会(委員長 むらいしゅんじ 村井 俊 治)は、「地理空間情報フォーラム 2009, 地理空間情報システム展 2009」(主催：社団法人日本測量協会, 社団法人全国測量設計業協会連合会, 一般社団法人日本測量機器工業会, 財団法人日本測量調査技術協会)を 6 月 17 日～19 日の 3 日間、パシフィコ横浜にて開催します。

「地理空間情報フォーラム 2009, 地理空間情報システム展 2009」の概要は別紙のとおりです。

- 別紙 1： 地理空間情報フォーラム 2009 へのお誘い 実行委員長
別紙 2： 開会式
別紙 3： 地理空間情報フォーラム 2009 開催概要

参考： 「地理空間情報フォーラム公式 Web ページ」
www.jsurvey.jp/geoforum2009.htm

<お問い合わせ>

地理空間情報フォーラム事務局:
社団法人日本測量協会 〒112-0002 東京都文京区小石川 1-3-4
会員業務センター 会員部長 山本 博 電話 03-5684-3352

地理空間情報フォーラム 2009 へのお誘い

地理空間情報フォーラム実行委員長 小野邦彦

名称変更して第 2 回目の「地理空間情報フォーラム 2009」を、6 月 17 日(水)から 19 日(金)までの 3 日間、パシフィコ横浜にて開催します。

2007 年の地理空間情報活用推進基本法施行や測量法改正、2008 年の作業規程の準則の改正や地理空間情報活用推進基本計画の閣議決定など、次々と施策が打ち出されたのはご存知のとおりです。これを受け、地理空間情報が高度に活用される社会を実現させるため、産学官が連携して様々な事業や研究開発が精力的に進められています。今年の地理空間情報フォーラム 2009 では、これら事業や研究の成果が多数報告されます。これらの動向を知る上で欠かせない 3 日間になると信じています。

地理空間情報を取り巻く社会は、測量、地図作成、建設コンサルタントなどの公共事業のみならず、カーナビ、情報化施工、市場調査、g コンテンツなどの産業分野で飛躍的に拡大しつつあり、注目されています。国土交通省、経済産業省、総務省、文部科学省の後援と、独立行政法人、地方自治体、公益法人、学会など 40 団体の協賛を得て地理空間情報フォーラム 2009 を開催できるのは、生活や産業面で地理空間情報をもたらす影響の大きさと広がりへの期待を象徴したものといえましょう。

例えば、今や私たちの生活に欠かせない衛星測位をいつでもどこでも障害無く行えるようにするための技術開発や、共用データとして誰もが自由に使える基盤地図情報の整備が精力的に進められています。これにより生まれる産業利用の新展開をご覧いただくことができます。また、科学技術の粋を集めた最新の測量・計測システム、GIS アプリケーション、衛星画像、g コンテンツなど、これまでとは趣の違う新技術・新製品も見どころです。

是非、地理空間情報フォーラム 2009 を取材いただき、展示されている様々な技術に直接触れ、また、シンポジウムに参加して大転換しつつある測量と地理空間情報の流通・利活用をご理解いただき、報道していただければ幸いです。

地理空間情報フォーラム 2009 へのご来場を、心よりお待ちしております。

- 日 時 平成 21 年 6 月 17 日 (水) 午前 9 時 30 分より
- 場 所 パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
 - 式 典： アネックスホール F201・202
 - テープカット： 展示ホール B 前

開会式次第

1. 開 会
2. 挨 拶 組織委員会 委員長 村井 俊治
3. 来賓挨拶 国土交通省 国土地理院長 小牧 和雄
4. 開催趣旨説明 組織委員会 委員長 村井 俊治
5. テープカット 国土交通省 国土地理院長
経済産業省 製造産業局 産業機械課
総務省 自治行政局 地域情報政策室
文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課
社団法人日本測量協会 会長
社団法人全国測量設計業協会連合会 会長
一般社団法人日本測量機器工業会 会長
財団法人日本測量調査技術協会 会長
実行委員会 委員長
6. 閉 会

※ テープカット終了後、地理空間情報システム展を見学します。報道の皆様もご参加いただきたい、ご案内します。(10時～10時40分、展示ホールB)

※ その後、来賓および列席者は「喫茶懇談会」に出席します。報道の皆様にもご参加いただきたい、ご案内します。(10時50分～11時30分、ハーバーラウンジB)

地理空間情報システム展 2009

最新技術の粋を集積した、測量、地理空間情報の流通と利活用に関連する機器・システム・ソフトウェア・データ・測量周辺器具・材料などを展示

- 展示分野
 - 測量・調査
 - モバイル・マッピング
 - リモートセンシング
 - 地理空間情報・GIS
 - 位置情報・衛星測位(GNSS)・GPS
 - 3次元計測・レーザー計測
 - 設計・CAD・CALS
 - マシンコントロール
 - コンピュータグラフィックス
 - VR (仮想現実感)
 - gコンテンツ
 - 建設コンサルタント(地域計画・都市計画・環境・防災・道路・橋梁・海洋など)
- 出展社数 73社 (159小間)
- ベンダーフォーラム(出展者商品説明会) 40件
- 予想来場者数 17,000人

特別講演

- 「東京の原景観を探る～現代に蘇る江戸絵図の世界」
清水英範 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授

シンポジウム： 地理空間情報・GIS

- 「測位技術が広げる g コンテンツの世界」
携帯位置情報サービスの新たな可能性や、ジオメディアの普及とその背景
- 「ISO/TC211 LADM (土地管理領域モデル) における地籍業務の標準化と各省連携」
- 「交通分野における地理空間情報の活用」
リムジンバスにおけるロケーションシステム、プローブ情報の最新動向、鉄道 GIS など
- 「仮想空間と現実空間の融合」
 - 人とマシンの協働を支える 4次元地理空間情報インフラ
柴崎亮介 東京大学 空間情報科学研究センター長 教授
 - 仮想化都市空間
池内克史 東京大学大学院 情報学環 教授
- 「公共測量から基盤地図情報へ—整備から流通へ」
- 「地方自治体統合型 GIS —共同整備で新たな展開—
～空中写真と地図作成のコストダウンは図れるのか～」

シンポジウム： 測量・測位

- 「産学官連携によるひろがる衛星測位」 第1部 電子基準点
電子基準点開設15年, 地理空間情報を基軸とした食料生産技術, ネットワーク型RTK-GPS
測量など
- 「産学官連携によるひろがる衛星測位」 第2部 準天頂衛星, シームレス測位
基本3法による新たな社会インフラの可能性, 宇宙基本計画, 準天頂衛星の整備と産業界
への期待, 屋内位置測位技術による新たなサービス創出など
準天頂衛星とシームレス測位の実現による新たなマッシュアップの形〜新産業創出の可
能性〜
- 知っ得! 測量時事情報セミナー「地方業者の生きる道」
資格制度, 組合価値向上, 業態転換, 多角経営, 資本・業務提携, ほか
- デジタルカメラを用いた写真測量の実用化
デジタル写真測量からみたデジタルカメラの精度検証, 土木測量現場でのデジタルカメラ
による三次元写真計測システムの活用, 災害復旧効率化支援システムなど
- 新準則の下での測量成果電子納品
国土地理院の地理空間情報関連施策, 作業規程の準則改定と測量電子納品要領改正, 測量
現場や地方の電子納品の現状, など

シンポジウム： 設計・調査・建設コンサルタント

- 「建設コンサルタントから見た地理空間情報に関する次世代ビジネスの展望」
- 「さまざまな施設維持管理への挑戦—測量設計業の役割—」
道路防災点検, 農業水利施設ストックマネジメント, 港湾施設の保全調査など

技術発表会

- 「応用測量技術研究発表会」(第20回)
- 「測量調査技術発表会」(第31回)
- 表示登記制度研究発表会「地籍情報の生産現場—登記測量の視点から—」(第2回)
- 「English Technical Session」(第2回)

学生フォーラム (第11回)

技術展示など

- 「関連機関による技術展示」
国土交通省国土地理院，国土交通省海上保安庁海洋情報部，(独)国立環境研究所，
(独)森林総合研究所，(独)土木研究所，(独)防災科学技術研究所，横浜市道路局，
(財)衛星測位利用推進センター，他 26 機関・団体が展示

- 「大学などにおける測量・地理空間情報分野の研究成果の展示」
21 校・研究室が展示

企画展

- 映画「劔岳 点の記」コーナー
- 「測位技術が広げる g コンテンツの世界」コーナー

来場者参加イベント

- 「測量コンテスト」(第 3 回) 13 チームが参加
- 「距離を測る体験コーナー」(第 3 回)
- 「横浜開港 150 周年記念ウォーキング大会」
主催 地理空間情報フォーラム実行委員会，(社)日本ウォーキング協会，神奈川県ウォーキング協会
後援 (財)横浜開港 150 周年協会

併催

日本写真測量学会 平成 21 年度年次学術講演会